

「大江川クリーン作戦」にみんなで参加しよう！！

第7回「大江川クリーン作戦」～私たちの街と川をきれいに～

内容：大江川の浄化 ゴミ・草取り、大江川の沿道の美化
 日時：11月12日(土) 9:00～10:30 小雨決行
 集合場所：天道公園(8:30) 羽衣一丁目・和光交差点南西角
 申込先：グラウンドワーク宮実行委員会(一宮市役所地域ふれあい課内)
 TEL：0586-28-8100(内線1051)



昨年ようす

教えて！のーりんQ&A

皆さまからの質問にお答えしています。

Q1：お米の「花」ってどんな花ですか？

A1：夏の暖かい太陽の光と水をたっぷり吸い込み、1～2ヶ月かけて稲はどんどん葉を増やしていきます。分けつ期も最終に近づくと、茎の下のほうでは、稲の赤ちゃん(幼穂)が育ち始めます。幼穂は、稲の最後の葉である止葉に包まれ育ちます。やがて、穂が完全に茎から出てくる出穂と同時に、稲のかわいい花も咲きます。その後、約4～5日間かけて穂が成熟し、これを収穫したものが、私たちの食べるお米になります。約5ヶ月の自然の恵みと人の手をかけて大切に育てられる農作物がお米なのです。



花の命は短くて、約2時間でしぼんでしまいます。花は穂の先から最後まで4、5日遅れで順番に開花していっくです。

Q2：実りの秋「真っ最中」「五穀豊穡」って何ですか？

A2：人間の多くが、主食としている作物の種子のことを穀物といいます。私たちの祖先が大昔から主食として食べてきた穀物の代表がアジアが原産地のイネ科の作物である米(コメ)、麦(ムギ)、粟(アワ)、黍(キビ)、とマメ科の豆(マメ)の5種類であることから、これを五穀と呼び、穀物が豊かに実り豊作になることを「豊穡」ということから、これを併せ「五穀豊穡」といいます。村祭りの多くは、この食料の安定確保である「五穀豊穡」を願い行われています。また、世界規模での穀物には、五穀のほかに有名な玉蜀黍(トウモロコシ)があります。トウモロコシもイネ科の作物で原産地は中南米なのです。

編集・発行

リフレッシュ濃尾用水・編集事務局 refresh_noubi@tokai.nn-net.go.jp

紙面の内容に限らず、農業農村整備事業に興味のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

e-mailでもお待ちしています！

農林水産省 東海農政局 新濃尾農地防災事業所(しんのうびのうちぼうさいじぎょうしょ)
 (〒491-0903 愛知県一宮市八幡5-1-14 TEL0586-47-7720 FAX0586-47-6851)

犬山支所(〒484-0085 愛知県犬山市大字犬山字西古券地先 TEL0568-62-6201)
 羽島支所(〒501-6074 岐阜県羽島郡笠松町新町42 TEL058-218-2127)

【ホームページアドレス】

新濃尾農地防災事業所：<http://www.tokai.maff.go.jp/nougyou/seibi/kensetu/sinnoubi/>
 農林水産省：<http://www.maff.go.jp/> 東海農政局：<http://www.tokai.maff.go.jp/>

リフレッシュ濃尾用水

【編集発行】
 農林水産省東海農政局
 新濃尾農地防災事業所
 2005年9月 第8号

Topics!

- 9月1日、羽島用水路を利用した消火訓練が実施されました。
- 8月23日、稲沢北小学校の児童らとともに「田んぼの生きもの調査」を実施しました。
- 8月5日、第27回「水の週間」シンポジウムが開催されました。
- 今年度もかんがい期間の終了にあわせて、10月から用排水路等の改修工事を開始します。

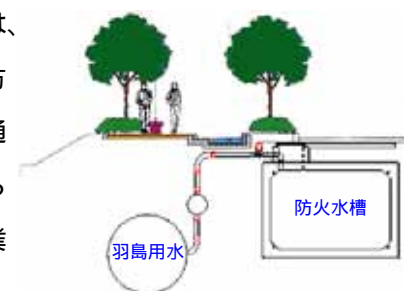
羽島用水路を利用した消火訓練を実施！

羽島だより

9月1日、各務原市前渡東町神明神社付近の羽島用水路において消火訓練が行われました。各務原市南消防署の全面的な協力の元、地域住民の見守り中、当事業所職員や羽島用水路土地改良区職員ら(総勢50名)が参加して、本番さながらに訓練を行うことが出来ました。

現在、羽島用水路は「農業用水の通水」を目的に効率的な整備(パイプライン化)が行われていますが、地域から水が見えなくなるという声も聞かれます。農業用水にはかんがい目的以外にも、地域の水としての役割もあることが見直されてきました。

東海農政局や岐阜県では、土地改良区や地域住民の方々と一緒に、羽島用水が通水機能と併せて持っている地域用水機能を高める事業を実施中です。



羽島用水路の上部利用と維持管理



当事業所が行っている改修工事で、パイプライン化され地中に埋まった羽島用水路は、岐阜県が行う地域用水環境整備事業「羽島用水地区」において、用水路上部の利活用が行われます。

工事完成から上部利用までのしばらくの期間は、羽島用水路土地改良区や地元住民の方々の手によって草刈り等の日常管理が行われています。

平成17年度工事予定情報

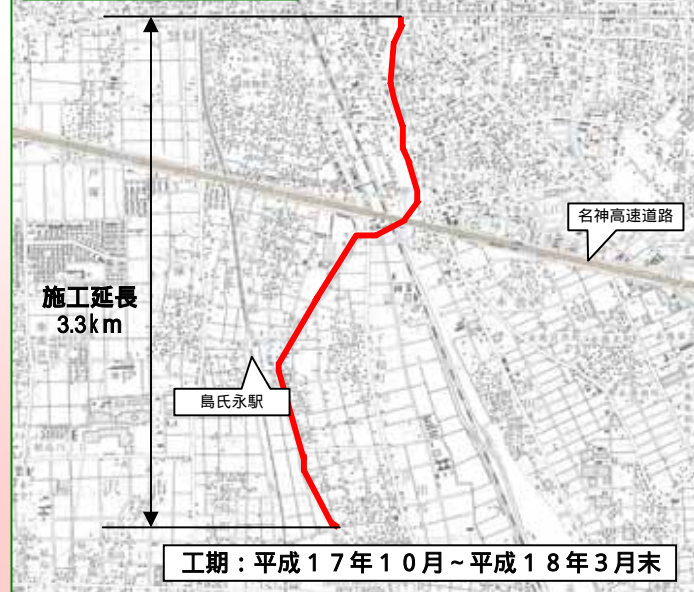


工事期間中は、騒音・振動の発生、工事車両の通行、各種交通規制で地元の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

写真は昨年度実施した工事の状況です。



大江排水路改修工事



工期：平成17年10月～平成18年3月末



工期：平成17年10月～平成18年5月末

"安全第一"



羽島用水路改修工事 徳田調圧施設工事



工期：平成17年10月～平成18年3月末
(徳田調圧施設工事は9月から着工いたします)

調圧施設ってなに？

- 管水路では取入口からの高低差により、その差が開けば開くほど水圧はたかくなっていきます。
- 水圧が高くなるとどうなるの？
- 水圧が高くなりすぎると、それだけ管水路全体に負担をかけているということになります。そのため施設への損傷や、農地への分水に支障をきたすことになります。
- 安全に水をながすためにはどうしたらいいの？
- そこで調圧施設の登場です。調圧施設というのは、水槽のような形をしています。そこに管水路からの水が入り、管水路の余分な水圧はなくなります。つまり水の休憩所ですね。そのため下に流す管水路へは、取入口からの高低差の水圧ではなく、調圧施設からの高低差の水圧となり、水圧が低くなるため安全に水をながすことができるのですよ。



大江川の生きもの



名前：かるがも
 分類：カモ目 カモ科
 生息地：淡水域から海水域まで幅広い
 雌雄の区別：外観が似ており区別がつきにくい。尾の上面がより黒いのが雄

小学生とともに「田んぼの生きもの調査」を実施！

8月23日(火)、当事業所では、稲沢市立稲沢北小学校周辺の水田において「田んぼの生きもの調査2005」を実施しました。当日は、朝から雨模様のあいにくの天気の中、5年生の児童約50人と宮田用土地改良区の職員らが参加し、タモ網・籠網による生きもの捕獲やバックテストによる水質調査を行いました。小学校との共同調査は、年間を通して米作りの体験学習を行っている5年生の出校日を利用して実施しており、今年で3年目を迎えました。

生きものを捕獲した児童達から、その種類などについて質問を受けた先生役の職員は、田んぼと水路の水質や用水の水源などとも関連付けて答えるなど、地域を流れる農業用水を話題にして児童達とコミュニケーションを図ることができました。調査結果としては、絶滅危惧種に指定されているナゴヤダルマガエルをはじめ、タイリクバラタナゴ、タモロコ、トノサマガエルなど様々な生きものが確認され、児童だけでなく参加した職員も改めて環境に対する意識を高めることができました。



調査の様子はCBCテレビでも報じられました



つかまえた生きものをみんなに発表しました



とっても元気な調査隊！

第27回「水の週間」シンポジウムに参加！

8月5日(金)、小牧市民会館において開催された「水の週間・シンポジウム(木津用水水管理対策協議会主催)」に参加しました。今年は、日本大学非常勤講師の岡本雅美氏による「管内の市町と共に生かそう地域資産・木津用水」と題した講演が行われ、木津用水の歴史から土地改良の現状まで、雑学も取入れた興味深い講演内容に、参加者一同聞き入ってしまいました。

犬山だより



大江川だより

大江排水路 (大江川) 物語 第三話

江戸、明治、大正と肥沃な濃尾平野の農業を支え続けた大江川は昭和へと移り、目まぐるしく変化する状況に対応していくこととなります。

昭和初期までの大江川は素掘りで、法面も崩れ、断面も小さく、曲がりくねっていました。当時は食糧の増産が求められていたのが、このような水路状況でした。農業に必要な用水量を流すことができませんでした。また、堰や分水口等の構造物も多く、排水にも支障が生じていました。

このため、昭和十七、三三年にかけて農林省の直轄事業(尾張農業水利事業)等で大江川を改修しました。この改修工事により、現在見られる玉石積み護岸のある大江川になりました。

(つづく)